

- 問1 石川県を含む日本海側の地域では、農業産出額において米の占める割合が高い傾向にあります。この地域で稲作が盛んになった地理的な背景として、自然環境の面から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---------------------------------------|---|
| 1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥に強い稲の品種改良が進んだため。 | 2. 広大な平野部が広がり、一年中高温多湿な気候を利用した二期作が行われているため。 | 3. 冬の季節風による積雪が、春先の農繁期に豊富な農業用水をもたらすため。 | 4. 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹くことで、稲の成長が促進されるため。 |
|--|--|---------------------------------------|---|
- 問2 日本海側の北陸地方では、冬に大量の雪が降るという気候特性があります。この自然環境が、この地域の稲作にどのような利点をもたらしているか、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 積もった雪が春に溶け出し、水田を潤すための重要な水資源として確保できる仕組み。 | 2. 雪解け水が地中の地熱を冷やすことで、夏の猛暑による稲の病気を防ぐ仕組み。 | 3. 雪が断熱材の役割を果たし、冬の間も水田でレタスなどの高原野菜を栽培できる仕組み。 | 4. 冬の低温と雪によって害虫の発生が抑えられるため、夏場の肥料が不要になる仕組み。 |
|--|---|---|--|
- 問3 三重県は中京工業地帯の一角を担い、年間の製造品出荷額等の合計が10兆円を超える全国有数の工業県です。この県の工業出荷額の内訳において、約24.6%を占めて最大となっている産業はどれですか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|------------|
| 1. 印刷業 | 2. 食料品工業 | 3. 化学工業 | 4. 輸送用機械工業 |
|--------|----------|---------|------------|
- 問4 長野県において、農業産出額に占める野菜や果実の割合が、米などの他の品目と比較して高くなっている理由として、地理的な背景を説明したものを選びなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|---|
| 1. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を利用して、冬でも野菜を栽培する促成栽培が盛んなため。 | 2. 広大な平野部で大型機械を導入した米の単作が効率的に行われているため。 | 3. 標高が高い地域の涼やかな気候や、扇状地などの水はけの良い傾斜地を活かしているため。 | 4. 大都市に隣接しているため、土地を高度に利用したビニールハウスによる施設園芸が主流だから。 |
|--|---------------------------------------|--|---|
- 問5 日本の5つの県を比較した統計において、県土に占める山地の割合が約85%と極めて高く、かつぶどうの栽培面積や収穫量が日本一である県はどこですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 山梨県 | 2. 岡山県 | 3. 愛媛県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問6 都道府県別の平均標高を示した統計において、山梨県や群馬県を抑えて最も高い1132メートルを記録している長野県の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 冬の温暖な気候と日照時間を活かし、ビニールハウス等を用いて出荷時期を早める促成栽培が盛んである。 | 2. 高冷な気候を活かし、他の地域で収穫が少なくなる夏から秋にかけて野菜を出荷する抑制栽培が盛んである。 | 3. 周囲を海に囲まれた温暖な気候を活かし、早場米の生産や花卉の栽培が大規模に行われている。 | 4. 内陸の盆地特有の、夏に高温多湿となる気候を活かして稲作の二毛作が盛んに行われている。 |
|---|--|--|---|
- 問7 2015年に長野から金沢駅まで延伸開業した北陸新幹線が、地域社会や交通網に与えた影響について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 東京との間の所要時間が大幅に短縮されたことで、首都圏からの観光客が増加し、地域活性化につながった。 | 2. 新幹線の整備によって運賃が大幅に低下したため、自家用車や高速バスを利用する人がいなくなった。 | 3. 交通の利便性が向上したことにより、地方から東京へ人口が集中する「ストロー現象」が解消された。 | 4. 新幹線開通と同時に並行する在来線の運行本数が増加し、地域住民の日常的な利便性が飛躍的に向上した。 |
|--|---|---|---|
- 問8 中部地方の4つの県（新潟県、富山県、長野県、愛知県）を比較した統計において、面積が約1万3562平方キロメートルと4県の中で最も広く、かつ果実の産出額が約557億円に達し、他県（約22億円～207億円）と比べて際立って高い数値を示している県はどこか、次の中から選びなさい。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 富山県 | 3. 愛知県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問9 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 新潟県 | 2. 埼玉県 | 3. 富山県 | 4. 長野県 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問10 山梨県の上野原市付近は、桂川（相模川）沿いに形成された河岸段丘が見られる地域です。この地域の地形図において、道路の北側に崖がそびえ、南側を鉄道の線路が並行して走っているような土地利用が見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 洪水の被害を避けるために、あえて居住地や道路を山の頂上付近に集中させているから。 | 2. 鉄道の脱線を防ぐため、風よけとして北側に人工的な高い壁を建設することが法律で定められているから。 | 3. 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。 | 4. 広大な平野部において、最短距離で都市間を結ぶために周囲の地形に関わらず直線的に線路を敷いたから。 |
|---|---|--|---|
- 問11 ぶどうの生産量が全国1位である県について、その地理的な特徴や農業の様子として最も適当なものはどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1. 太平洋側に位置し、温暖な気候を生かした野菜の促成栽培が盛んである | 2. 内陸部に位置し、高冷地でのレタスなどの抑制栽培が盛んである | 3. 日本海側に位置し、広大な平野で水田単作が行われている | 4. 内陸部に位置し、盆地の扇状地などで栽培が盛んである |
|-------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
- 問12 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|-----------|------------|
| 1. 南西諸島の気候 | 2. 北海道の気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 中央高地の気候 |
|------------|-----------|-----------|------------|
- 問13 長野県において、リンゴやブドウといった果樹栽培が盛んに行われている理由として、この地域の気候の特色を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2025年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------|---|--------------------------------------|
| 1. 一年を通じて温暖で、黒潮の影響により冬でも霜が降りにくい気候であるため | 2. 季節風の影響で冬の降雪量が多く、雪解け水が豊富なため | 3. 梅雨や台風の影響を強く受け、年間を通じて非常に降水量が多い気候であるため | 4. 内陸部特有の、夏と冬や昼と夜の気温差が大きい気候を活かしているため |
|--|-------------------------------|---|--------------------------------------|